



No. 2831

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 事務所 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～
 親睦を深め
 ロータリーライフを楽しもう



本日のプログラム
 平成29年6月15日 第2832回
 ・委員会活動報告の発表
 ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ
 平成29年6月22日 第2833回
 ・委員会活動報告の発表
 ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告 (第2831例会)

開催日 平成29年6月8日(木)

点鐘 (松村会長)

ビジターの紹介 (井上親睦活動委員長)

ビジター: 前任 君(有田2000RC)

会長の時間 (松村会長)

南方熊楠は和歌山県出身の博物学の巨星と呼ばれています。彼の研究の方法は一つの分野に関連性の有るもの全ての学問を知ろうとするものであり、彼の知識は膨大なものであります。

先月、南方熊楠の新聞記事を見ました。昭和4年6月1日天皇行幸の際に昭和天皇に粘菌についてご進講をしたとありました。また、熊楠の没後昭和37年の南紀行幸の際白浜の宿舎から神島を望みながら歌を詠まれました。

「雨にけふる神島を見て 紀伊の国の生みし南方熊楠を思ふ」何の肩書もない在野の研究者が天皇陛下に粘菌についてご進講したこと。その後天皇陛下が南方熊楠のことを歌に詠んだ。という事実を知りびっくりしました。

南方熊楠記念館が白浜町にあります。先日こちらに行ってきました。熊楠はイギリスにいた時に孫文と知り合っていたのですが、熊楠がイギリスから帰国後、孫文も中国から日本に亡命中でありましたので和歌山市内の和歌浦の料亭で2人は旧交を温めました。ここで私は個人的に新しい発見をしました。その料亭は不老橋の近くの「あしべ旅館」でした。何とそこは40年前に私が1年間住んでいた所です。当時「あしべ寮」と呼ばれ学生寮になっており、その頃はボロボロの元旅館でしたが大正天皇が泊まったという大きな部屋もありました。夏目漱石も和歌山に来た時そこに宿泊したと私は想像しています。

話はそれましたが、南方熊楠記念館は番所跡というて

も景色の良い所にありました。遊歩道も有ります。時間の都合でそこまで行けませんでした。美しい景色を見てリフレッシュすることができました。最後に南方熊楠は神社合祀反対運動や自然保護活動で地域の自然と伝統文化を守ることに貢献しエコロジーの先駆者ともいわれています。

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

- 第12回定例理事会報告
- 1. 6月の例会プログラムについて 承認
- 2. 5月試算表について 承認
- 3. 会計監査、委員長副委員長欠員について 承認
- 4. 次年度のロータリー財団地区補助金事業の件 承認
- 5. 新入会員について(木本隆昭さん) 承認
- 6. 桜木の手入れ決算報告 承認
- 7. 記念品について 承認
- 8. 新会員のメンターについて 承認

ロータリー友誌 (石垣R広報副委員長)

- ロータリーの友誌6月号**
- ☆ヨコ組
 - ・P3 RI会長メッセージ「手を差し伸べたいという思いから」
 - ・P16-17 ロータリー財団100周年を祝う 100年以上続く企業から永続性を学ぶ「ロータリー経営大講演会 企業の永続性を考える」を開催、その中身を紹介しています。
 - ・P25 ようこそロータリーへ 10年後のロータリーは？ロータリーの友 編集長 二神典子氏
 - ☆タテ組
 - ・P4-8 地球温暖化防止の切り札について 足利工業大学 理事長 牛山泉氏
 - ◎今月号は地区大会略報や各RCの色々な事業報告が沢山載っていますので、次年度活動のために読んでみてください。

出席報告 (嶋田(ひ)例会運営委員)

本日の会員数25名
 (出席規定免除会員8名)
 出席会員数22名
 (出席規定免除会員8名)
 88.00%
 5/25 84.00%
 MU:なし

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君:中村吉伸先生、「在宅医療」について卓話よろしくお願ひします。
 橋爪(誠)君:中村先生、本日の卓話、よろしくお願ひいたします。勉強させていただきます。
 前任君(有田2000RC):本日、お世話になります。
 中村君:我が栄光の巨人軍は永遠に不発です。本日卓話させていただきます。
 脇村君:中村さん、大変有益なお話、楽しみにしています。
 嶋田(ひ)君:中村先生、卓話宜しくお願ひ致します。
 岩橋君:中村先生、卓話よろしくお願ひします。私も近づいてきました。しっかりとお話聞かせていただきます。
 児島君:中村先生、卓話楽しみです。
 橋爪(正)君:中村先生、卓話よろしくお願ひします。早退させていただきます。
 應地君:中村先生、卓話を楽しみにしています。
 井上君:中村先生、本日の卓話楽しみです。
 中元君:中村先生、本日の卓話勉強させていただきます。
 酒井君:中村先生、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
 上野山(英)君:中村君、本日の卓話ご苦労様です。近い将来のため参考にさせていただきます。
 上野山(栄)君:中村先生、本日の卓話楽しみです。
 川口君:中村先生、本日の卓話宜しくお願ひ致します。「在宅医療」勉強させていただきます。
 石垣君:中村さん、卓話楽しみにしています。
 橋本君:中村先生、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
 成川(守)君:中村先生、卓話ご苦労さま。
 岩本君:中村先生、今日のお話楽しみにしています。
 成川(雅)君:中村吉伸先生、勉強させていただきます。
 宮井君:中村先生、本日の卓話勉強させていただきます。
 上野山(捷)君:中村吉伸様、本日の卓話ご苦労様です。

卓話

「在宅医療」

会員 中村 吉伸 君

在宅医療とは医師や看護師、理学療法士などが、通院困難な患者さんを自宅で診療および看護、リハビリなどを行うことです。対象となる患者さんは脳梗塞や脳出血後遺症、脊椎圧迫骨折や脊髄損傷、大腿骨骨折などで寝たきりの方、老衰やがん終末期の方、あるいは筋ジストロフィーや最近話題のALS(筋萎縮性側索硬化症)などの難病指定疾患の方などがおられます。もちろん重症度は様々で、単なる腰痛や膝関節痛のため病院への通院は出来ないものの自宅では寝たきりではないといった比較

的軽症の方から、がんの末期で最後は自宅で過ごしたいとのことで退院して来られる重症患者さんまで在宅医療に関わる範囲は大変広がっております。最近経験した最も重症の方はがんの全身転移で、病院の先生からは余命1ヶ月と宣言されていました。退院時すでに体の3か所にチューブが挿入されていました。さらに輸液ポンプや心電図モニターなどが装着されていたらまるでICUです。ここまで行くと在宅医療の範囲を超えているのではないかと思いましたが、これからはこのような重症ケースがどんどん増えてくると思われま



在宅医療で保険診療として認められている在宅療法には、自宅で酸素を吸入する在宅酸素療法、人工呼吸器を設置する在宅人工呼吸療法、点滴チューブの先を心臓近くまで挿入して高カロリーの点滴を行なう在宅中心静脈栄養療法、鼻腔チューブや胃と腹壁を繋げる胃瘻を造設し、そこから流動食を注入する経管栄養法、さらには在宅自己導尿法、インスリンやモルヒネなど自己注射する在宅注射療法などがあります。そして現在ではこれらの療法に、訪問看護やリハビリ、歯科治療、薬剤管理なども加えた、いわゆるオーダーメイド医療が可能となって来ています。

それではなぜ最近在宅医療の必要性が叫ばれているのでしょうか。そこには2025年問題というものが存在します。2025年は現在の日本人の最も多い人口構成をなしている団塊の世代が、すべて75歳以上の後期高齢者になる年です。後期高齢者は当然のごとく他の年齢に比べて入院や寝たきりの患者さんが圧倒的に多く存在します。ということはこの世代に支払われる医療費は巨額となり、現在の医療体系では日本の医療は崩壊するとされています。政府は数年前から地域医療構想という新しい医療、介護体制のためのシステムを構築しています。つまり地域の無駄な病床を削減し、必要病床の再編、コストのかかる入院患者や施設への入所を在宅医療に移行しようとしています。在宅医療はコスト面から考えると病院、診療所への通院よりは高額ですが、入院や施設入所よりは低コストとなります。在宅医療は医療費削減には不可欠で、将来的には若い世代の方々の負担を減らす医療形態として推進されています。この地域医療構想のひとつとして各医師会で取り組んでいるのが在宅医療サポートセンターです。サポートセンターでは入院患者さんが在宅医療に移行する場合に、かかりつけ医(登録医)を紹介し、安心して帰宅できるように支援いたします。そしてケアマネージャーや訪問看護ステーション、リハビリ、デイサービス施設とも連携し、患者さんに応じたオーダーメイド医療が出来るよう手助け致します。有田市医師会ではほぼ全ての医療機関がサポートセンターの登録医となっており、各科に対応可能な在宅医療支援体制となっています。サポートセンターへの相談には一切負担金がかかりませんので、安心してご利用いただけますようお願い申し上げます。

閉会・点鐘 (松村会長)